



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 4 年 3 月 実績

March 2022



令和 4 年 5 月

May 2022

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 2022（令和4）年3月の機械受注動向 | |
| (1) 需要者別受注動向（季節調整値） | 1 |
| (2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） | 4 |
| (3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） | 4 |
| 〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値） | 7 |
| 〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値） | 7 |
| 2. 2021（令和3）年度の機械受注動向 | 9 |
| 統 計 表 | 13 |

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。
https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

1. 2022（令和4）年3月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比でみると、受注総額は、2月10.6%減の後、3月は2.5%増となった。

需要者別にみると、民需は、2月6.4%減の後、3月は0.4%減となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、2月9.8%減の後、3月は7.1%増となった。内訳をみると製造業が7.1%増、非製造業（船舶・電力を除く）が11.0%増であった。

一方、官公需は、2月5.3%減の後、3月は国家公務、運輸業で減少したものの、防衛省、「その他官公需」等で増加したことから、61.9%増となった。

また、外需は、2月2.8%減の後、3月は原動機、船舶等で増加したものの、産業機械、電子・通信機械等で減少したことから、14.2%減となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、2月18.6%減の後、3月は工作機械、重電機で減少したものの、道路車両、産業機械等で増加したことから、22.9%増となった。

次に四半期別の受注動向を前期比でみると、受注総額は、2021（令和3）年10～12月9.0%増の後、2022年1～3月は9.7%減となった。

需要者別にみると、民需は、10～12月14.1%増の後、1～3月は13.9%減となった。このうち、「船舶・電力を除く民需」は、10～12月5.1%増の後、1～3月には、製造業が増加したものの、非製造業（船舶・電力を除く）が減少したことから、3.6%減となった。

また、官公需は、10～12月3.6%増の後、1～3月には国家公務、防衛省等で増加したものの、地方公務、「その他官公需」で減少したことから、2.8%減となった。

一方、外需は、10～12月1.7%増の後、1～3月には鉄道車両、原動機等で増加したものの、電子・通信機械、産業機械等で減少したことから、6.6%減となった。

なお、代理店経由の受注は、10～12月1.4%増の後、1～3月には工作機械、電子・通信機械等で増加したものの、重電機、道路車両等で減少したことから、11.3%減となった。

第1表 主要需要者別機械受注額

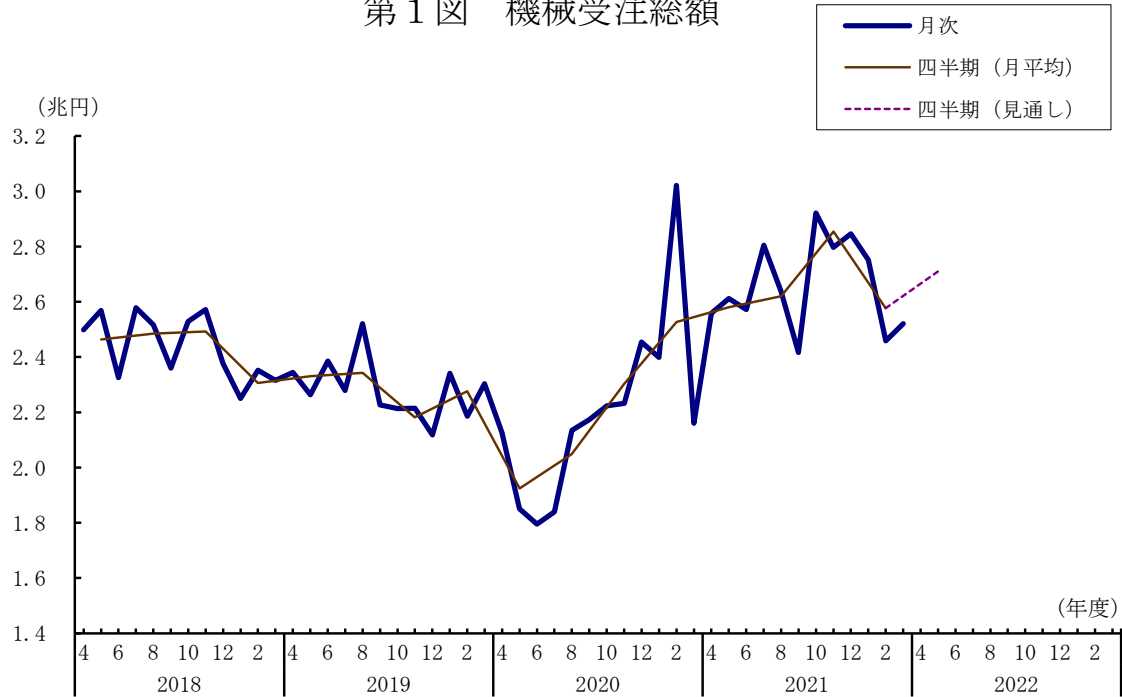
(単位：億円，%)

| 需要者 | 2021年 (令和3年) | | | 2022年 (令和4年) | | | | | |
|--------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--|
| | 期・月 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 受注総額 | 77,418 (2.1) [34.0] | 78,597 (1.5) [26.0] | 85,633 (9.0) [23.6] | 77,306 (-9.7) [4.6] | 28,458 (1.8) [17.1] | 27,512 (-3.3) [14.7] | 24,590 (-10.6) [-18.2] | 25,203 (2.5) [16.6] | |
| 民需 | 29,328 (7.5) [7.2] | 29,077 (-0.9) [4.3] | 33,163 (14.1) [14.1] | 28,542 (-13.9) [3.6] | 11,042 (6.2) [10.2] | 9,950 (-9.9) [2.8] | 9,313 (-6.4) [8.7] | 9,279 (-0.4) [1.6] | |
| 〃 (船舶・電力を除く) | 25,181 (4.1) [12.6] | 25,459 (1.1) [13.3] | 26,764 (5.1) [6.4] | 25,805 (-3.6) [6.1] | 9,178 (3.1) [5.1] | 8,996 (-2.0) [5.1] | 8,114 (-9.8) [4.3] | 8,695 (7.1) [7.6] | |
| 製造業 | 11,777 (11.1) [26.5] | 12,629 (7.2) [33.7] | 13,014 (3.1) [23.4] | 13,112 (0.8) [24.2] | 4,538 (3.5) [27.5] | 4,322 (-4.8) [18.7] | 4,245 (-1.8) [22.1] | 4,545 (7.1) [28.8] | |
| 非製造業 (船舶・電力を除く) | 13,429 (-0.9) [2.2] | 12,949 (-3.6) [-1.2] | 13,830 (6.8) [-6.4] | 12,712 (-8.1) [-7.1] | 4,615 (0.4) [-10.2] | 4,529 (-1.9) [-7.0] | 3,878 (-14.4) [-10.2] | 4,305 (11.0) [-5.6] | |
| 官公需 | 7,633 (-0.5) [-12.9] | 8,081 (5.9) [-7.3] | 8,372 (3.6) [4.2] | 8,139 (-2.8) [18.8] | 2,706 (1.5) [-7.0] | 2,338 (-13.6) [-2.9] | 2,215 (-5.3) [-16.4] | 3,586 (61.9) [36.1] | |
| 外需 | 37,032 (0.3) [98.7] | 38,568 (4.1) [64.8] | 39,216 (1.7) [38.7] | 36,623 (-6.6) [2.1] | 12,938 (-2.8) [31.9] | 13,050 (0.9) [27.2] | 12,685 (-2.8) [-31.0] | 10,888 (-14.2) [26.7] | |
| 代理店 | 3,587 (9.3) [19.5] | 3,659 (2.0) [19.8] | 3,710 (1.4) [15.4] | 3,291 (-11.3) [0.5] | 1,153 (-6.4) [5.8] | 1,169 (1.4) [6.6] | 952 (-18.6) [-11.7] | 1,169 (22.9) [6.1] | |

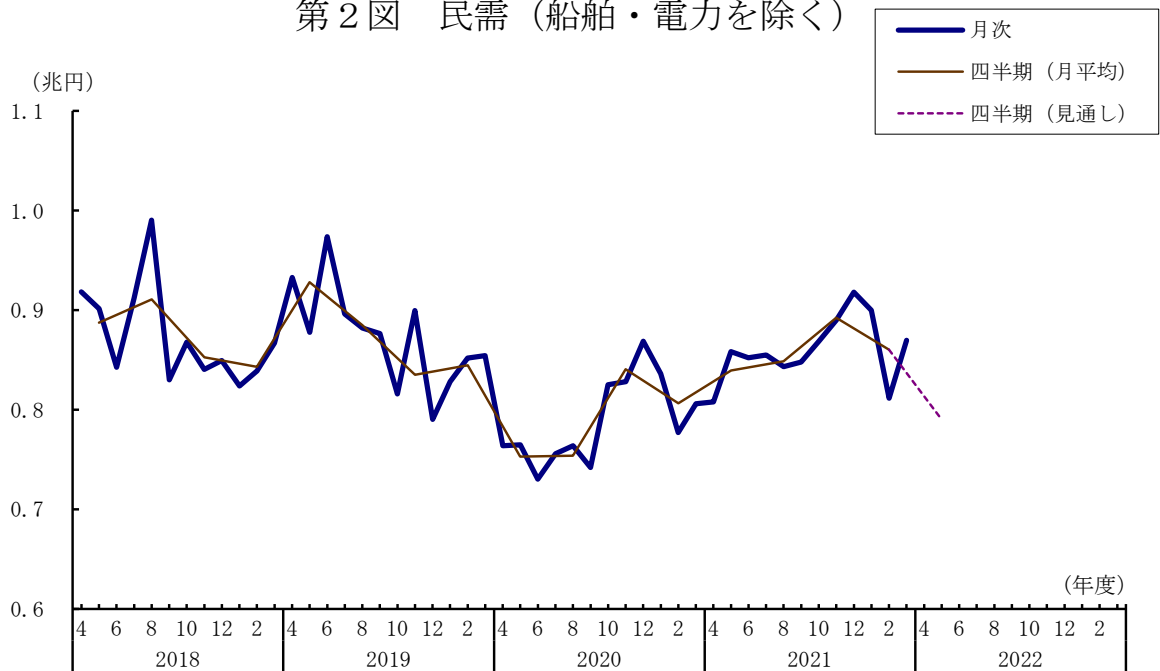
(備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期 (月平均) は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2022年4～6月 (見通し)」の計数は、「見通し調査 (2022年3月末時点)」の季節調整値を3で割った数値。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、2月1.8%減の後、3月は7.1%増となった。

3月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（72.0%増）、繊維工業（66.2%増）等の12業種で、情報通信機械（41.1%減）、食品製造業（20.9%減）等の5業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、2月0.9%減の後、3月は2.4%減となった。

3月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、リース業（64.1%増）、不動産業（55.6%増）等の10業種で、電力業（45.5%減）等の2業種は減少となった。

次に四半期別の受注動向を前期比で見ると、製造業からの受注は合計では、10～12月3.1%増の後、1～3月には0.8%増となった。1～3月の内訳を業種別にみると、前期比で増加したのは17業種中、非鉄金属（50.1%増）、化学工業（24.0%増）等の9業種で、造船業（38.3%減）、食品製造業（23.2%減）等の8業種で減少となった。

一方、非製造業からの受注は合計では、10～12月23.7%増の後、1～3月は22.1%減となった。1～3月の内訳を業種別にみると、前期比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業（12.2%増）、リース業（3.7%増）の2業種で、運輸業・郵便業（39.1%減）、電力業（37.6%減）等の10業種で減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

3月の販売額は2兆1,884億円（前月比8.5%減）で、前3か月平均販売額は2兆3,701億円（同2.7%減）となり、受注残高は31兆9,463億円（同2.6%増）となった。この結果、手持月数は13.5か月となり、前月差で0.7か月増加した。

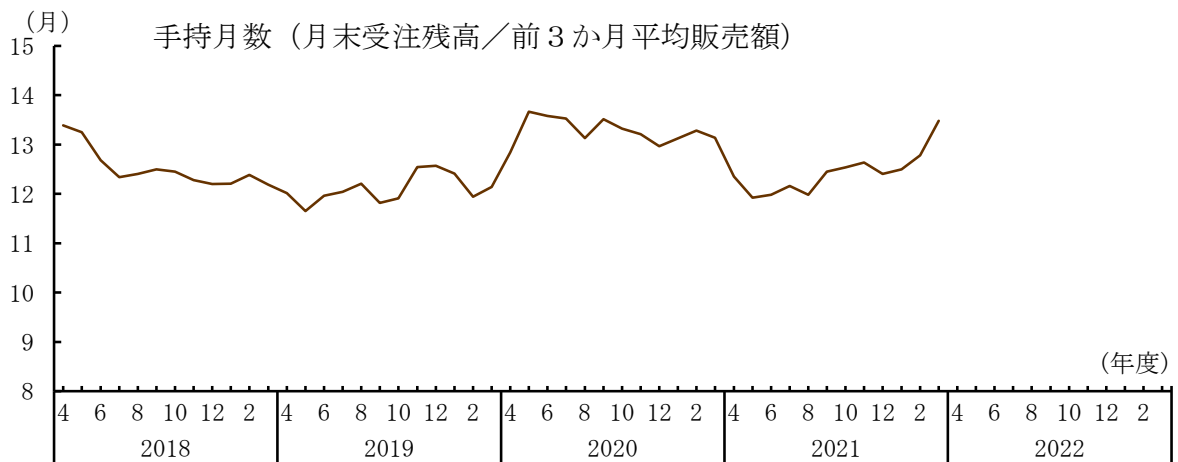
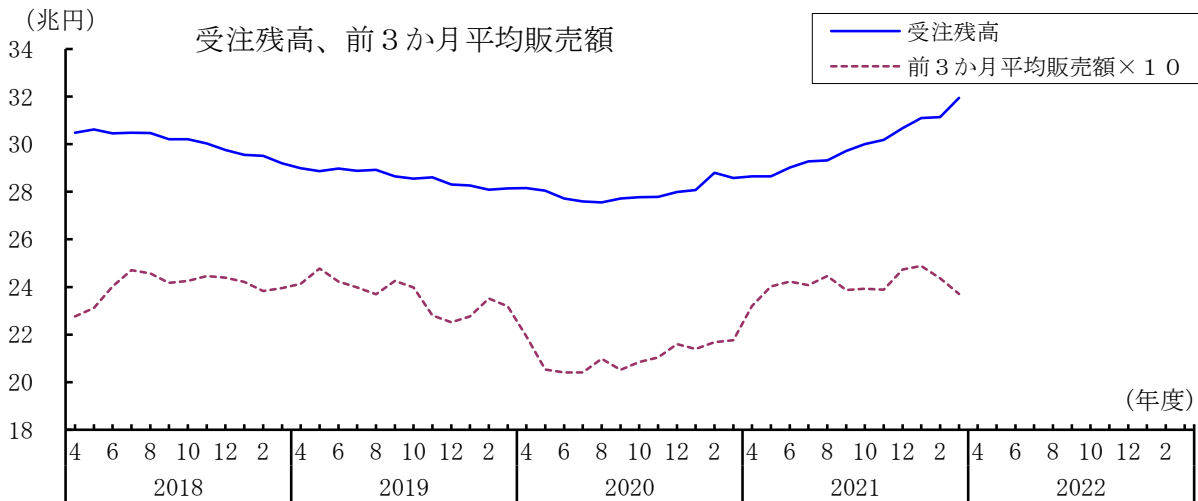
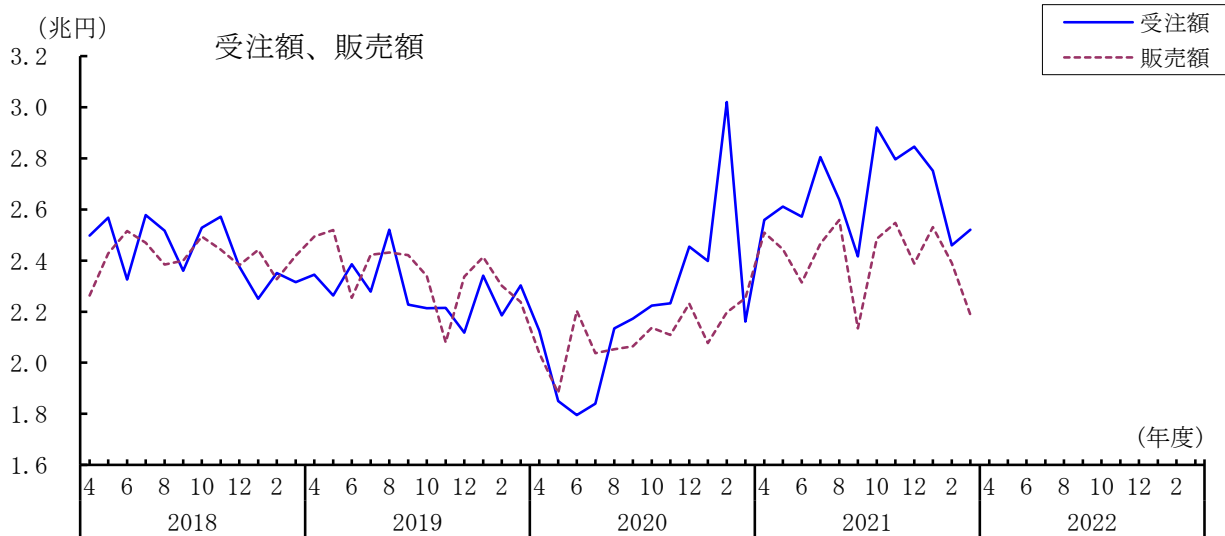
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

| 需要者 | 期・月 | 2021年 (令和3年) | | | 2022年 (令和4年) | | | | | |
|-----------------|-----|-----------------|-------|--------|-----------------|-------|-----------------|-------|-------|----|
| | | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 12月 | 2022年 (令和4年) | 1月 | 2月 | 3月 |
| I 製造業計 | | 11.1 | 7.2 | 3.1 | 0.8 | 3.5 | -4.8 | -1.8 | 7.1 | |
| 1 食品製造業 | | -3.6 | -11.1 | 31.0 | -23.2 | 10.5 | -25.1 | 19.3 | -20.9 | |
| 2 繊維工業 | | -10.4 | 21.8 | -6.3 | 8.0 | 16.6 | -17.0 | -4.2 | 66.2 | |
| 3 パルプ・紙・紙加工品 | | 17.1 | -1.5 | 23.8 | -20.8 | 147.5 | -42.2 | -33.0 | 37.1 | |
| 4 化学工業 | | 5.5 | 77.0 | -45.2 | 24.0 | 26.3 | 17.5 | -23.6 | -12.7 | |
| 5 石油製品・石炭製品 | | 38.3 | -39.8 | 31.6 | -11.7 | 27.1 | -17.9 | -13.9 | 4.1 | |
| 6 窯業・土石製品 | | 12.2 | 2.9 | 4.9 | -8.4 | -20.8 | -11.8 | 6.5 | 25.1 | |
| 7 鉄鋼業 | | -2.5 | 16.9 | 3.8 | -9.9 | -3.8 | -3.9 | -9.2 | 20.5 | |
| 8 非鉄金属 | | -18.5 | 33.8 | 19.0 | 50.1 | 168.4 | -21.9 | -19.1 | 72.0 | |
| 9 金属製品 | | 18.5 | 16.6 | -6.4 | 21.2 | -21.2 | 79.3 | -29.7 | 14.0 | |
| 10 はん用・生産用機械 | | 8.9 | 3.3 | 7.9 | -5.6 | -13.4 | 3.7 | -5.7 | 6.4 | |
| 11 業務用機械 | | 3.5 | -9.5 | 32.8 | -11.6 | 12.4 | -18.8 | 1.5 | 3.3 | |
| 12 電気機械 | | 18.0 | 3.7 | 19.3 | 2.2 | 8.0 | -9.5 | 13.8 | -13.6 | |
| 13 情報通信機械 | | -0.2 | 35.2 | 4.7 | 0.9 | -6.1 | -11.4 | 52.8 | -41.1 | |
| 14 自動車・同付属品 | | 5.2 | -4.3 | -2.0 | 1.8 | -1.5 | -7.3 | 11.3 | -0.2 | |
| 15 造船業 | | -11.1 | 14.1 | 1.9 | -38.3 | -32.6 | -29.3 | -30.9 | 60.9 | |
| 16 「その他輸送用機械」 | | 12.1 | -5.9 | 7.9 | 0.5 | 31.0 | -23.1 | 15.1 | 6.1 | |
| 17 「その他製造業」 | | 8.9 | 5.7 | -13.1 | 14.6 | 10.0 | 7.0 | -10.1 | 24.4 | |
| II 非製造業計 | | 3.0 | -5.8 | 23.7 | -22.1 | 8.3 | -19.1 | -0.9 | -2.4 | |
| 18 農林漁業 | | -9.6 | -14.9 | 17.5 | -5.1 | -4.0 | 8.2 | -14.3 | 1.5 | |
| 19 鉱業・採石業・砂利採取業 | | 25.1 | -33.5 | 26.0 | 12.2 | 28.2 | -25.6 | 13.7 | 44.5 | |
| 20 建設業 | | 11.6 | -12.3 | 18.2 | -16.4 | 15.2 | -21.4 | -8.6 | 2.6 | |
| 21 電力業 | | 20.5 | -13.7 | 57.9 | -37.6 | 34.8 | -47.2 | 45.3 | -45.5 | |
| 22 運輸業・郵便業 | | -8.9 | -4.3 | 69.3 | -39.1 | -5.6 | -1.5 | -23.7 | 42.3 | |
| 23 通信業 | | -1.9 | 0.6 | -7.1 | -6.3 | 2.0 | -18.7 | 8.8 | 15.7 | |
| 24 卸売業・小売業 | | 7.4 | 12.4 | -8.3 | -9.3 | 6.4 | -11.9 | -4.0 | 14.1 | |
| 25 金融業・保険業 | | -3.4 | -7.8 | 8.9 | -9.2 | -0.6 | -6.2 | -23.3 | 37.9 | |
| 26 不動産業 | | 5.4 | 3.9 | 32.5 | -15.2 | -4.8 | 1.5 | -40.8 | 55.6 | |
| 27 情報サービス業 | | -3.3 | 1.3 | 17.7 | -9.9 | -8.2 | 11.0 | -36.9 | 32.8 | |
| 28 リース業 | | 5.3 | 6.0 | 3.5 | 3.7 | -8.1 | -17.5 | 18.0 | 64.1 | |
| 29 「その他非製造業」 | | -6.0 | 4.4 | -9.4 | -5.2 | 1.0 | 0.6 | -5.7 | -9.9 | |

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

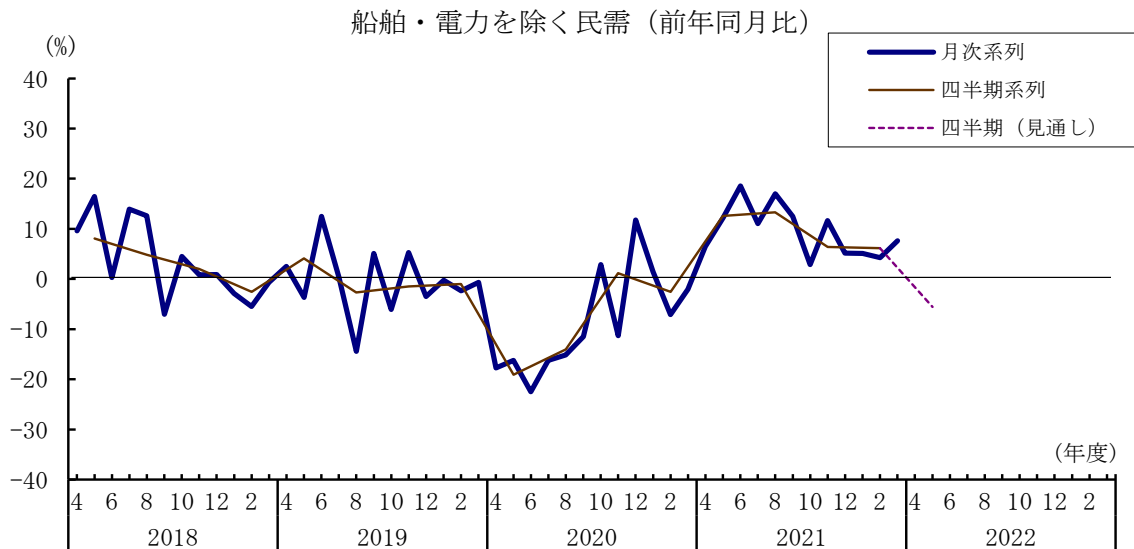
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

3月の受注総額は、4兆3,192億円の前年同月比16.6%増となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2022年4～6月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2022年3月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は1兆6,608億円で前年同月比1.6%増（船舶・電力を除くと同7.6%増）、官公需は8,803億円で同36.1%増、外需は1兆6,455億円で同26.7%増、また、代理店は1,326億円で同6.1%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比28.8%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（328.6%増）、金属製品（46.6%増）等の12業種で、食品製造業（28.9%減）、化学工業（12.4%減）等の5業種は減少となった。一方、非製造業からの受注は、前年同月比11.1%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、リース業（54.9%増）、鉱業・採石業・砂利採取業（46.0%増）等の6業種で、電力業（30.8%減）、運輸業・郵便業（13.9%減）等の6業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

3月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（56.5%増）、航空機（39.2%増）等のすべてで増加となった。この結果、合計では前年同月比16.6%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（49.2%増）、

工作機械（44.4%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（38.7%減）、道路車両（30.9%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比1.6%増となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

| | 2021年 (令和3年) 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 2022年 (令和4年) 1～3月 | 2021年 (令和3年) 12月 | 2022年 (令和4年) 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|-------------------------|-------|--------|-------------------------|------------------------|-----------------------|-------|-------|
| 民需総額 | 7.2 | 4.3 | 14.1 | 3.6 | 10.2 | 2.8 | 8.7 | 1.6 |
| 原動機 | -18.0 | -17.6 | 43.0 | 15.2 | 59.4 | -22.1 | 76.5 | 11.5 |
| 重電機 | 16.1 | 3.0 | 29.9 | 13.6 | 1.9 | 17.0 | 3.1 | 17.7 |
| 電子・通信機械 | 1.1 | 5.0 | 1.5 | 2.7 | -6.6 | 8.4 | -1.3 | 1.9 |
| 産業機械 | 30.4 | 18.4 | 6.7 | -1.2 | 16.3 | -0.8 | 3.4 | -4.1 |
| 工作機械 | 77.6 | 85.1 | 73.1 | 52.2 | 67.8 | 59.4 | 55.6 | 44.4 |
| 鉄道車両 | -42.1 | -35.6 | -5.6 | -30.6 | -36.0 | -35.5 | 38.8 | -38.7 |
| 道路車両 | -5.0 | -4.0 | -11.6 | -19.3 | -15.7 | 1.2 | -11.6 | -30.9 |
| 航空機 | -16.6 | 8.7 | -3.4 | 36.7 | 37.9 | 29.4 | 60.9 | 27.7 |
| 船舶 | -16.6 | -85.8 | 284.0 | -5.9 | 83.3 | 122.5 | -74.5 | 49.2 |

(2) 販売額

3月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（14.2%増）、航空機（13.1%増）等で増加となった。反面、重電機（10.2%減）、電子・通信機械（6.1%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.8%減となった。

(3) 受注残高

3月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（54.5%増）、道路車両（36.3%増）等で増加となった。反面、原動機（3.3%減）、鉄道車両（2.1%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比11.8%増となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

3月の受注額は、446億円で前年同月比40.3%減、販売額は、466億円で同12.3%増、受注残高は、5,026億円で同1.0%減となった。

(2) 軸受

3月の受注額は、736億円で前年同月比2.7%増、販売額は、650億円で同3.2%増、受注残高は、1,105億円で同19.8%増となった。

(3) 電線・ケーブル

3月の受注額は、1,269億円で前年同月比6.0%増、販売額は、1,198億円で同11.8%増、受注残高は、1,775億円で同7.7%増となった。

2. 2021（令和3）年度の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向

2021年度の機械受注動向を前年度比で見ると、受注総額は、2020（令和2）年度3.3%減の後、2021年度は20.1%増となった。

需要者別にみると、民需は、2020年度10.8%減の後、2021年度は7.2%増となった。内訳をみると、製造業が26.7%増、非製造業が3.8%減となった。「船舶・電力を除く民需」は、2020年度8.8%減の後、2021年度は9.3%増と3年ぶりの増加となった。

また、官公需は、2020年度2.6%増の後、2021年度には地方公務、国家公務が減少したものの、防衛省、「その他官公需」等が増加したことにより、1.9%増となった。

一方、外需は、2020年度5.3%増の後、2021年度には航空機が減少したものの、電子・通信機械、産業機械等が増加したことにより、39.8%増となった。

このほか、代理店経由の受注は、2020年度12.1%減の後、2021年度には道路車両、原動機等が減少したものの、重電機、産業機械等が増加したことにより、13.5%増となった。

(2) 民需の業種別受注動向

製造業からの受注を前年度比で見ると、合計では、2020年度8.5%減の後、2021年度は26.7%増となった。

2021年度の受注を業種別にみると、17業種中、非鉄金属（132.1%増）、金属製品（48.9%増）等の14業種で増加となった。反面、石油製品・石炭製品（9.8%減）、食品製造業（5.3%減）等の3業種で減少となった。

一方、非製造業からの受注を前年度比で見ると、合計では、2020年度12.1%減の後、2021年度は3.8%減となった。

2021年度の受注を業種別にみると、12業種中、不動産業（13.1%増）、建設業（11.4%増）等の4業種で増加となった。反面、リース業（13.5%減）、通信業（10.3%減）等の8業種で減少となった。

第4表 主要需要者別機械受注額（年度計）

（単位：億円，％）

| | 2016年度 (平成28年度) | 2017年度 (平成29年度) | 2018年度 (平成30年度) | 2019年度 (令和元年度) | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) |
|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 受注総額 | 267,957 (-5.6) | 284,769 (6.3) | 290,315 (1.9) | 273,908 (-5.7) | 264,849 (-3.3) | 318,008 (20.1) |
| 民需 | 121,603 (-3.4) | 120,312 (-1.1) | 124,779 (3.7) | 125,248 (0.4) | 111,690 (-10.8) | 119,702 (7.2) |
| 〃 (船舶・電力を除く) | 102,314 (0.5) | 101,480 (-0.8) | 104,364 (2.8) | 104,036 (-0.3) | 94,870 (-8.8) | 103,732 (9.3) |
| 製造業 | 42,167 (-4.6) | 46,056 (9.2) | 47,792 (3.8) | 43,917 (-8.1) | 40,193 (-8.5) | 50,929 (26.7) |
| 非製造業 (船舶・電力を除く) | 60,373 (4.3) | 55,644 (-7.8) | 56,801 (2.1) | 60,324 (6.2) | 54,873 (-9.0) | 53,027 (-3.4) |
| 官公需 | 31,395 (-3.0) | 29,774 (-5.2) | 29,281 (-1.7) | 32,209 (10.0) | 33,044 (2.6) | 33,678 (1.9) |
| 外需 | 100,952 (-10.2) | 119,908 (18.8) | 121,129 (1.0) | 102,145 (-15.7) | 107,542 (5.3) | 150,363 (39.8) |
| 代理店 | 14,007 (5.9) | 14,774 (5.5) | 15,127 (2.4) | 14,307 (-5.4) | 12,574 (-12.1) | 14,266 (13.5) |

（備考）上段は実績、下段（ ）内は対前年度増減率。

第5表 民需の業種別機械受注（前年度比）

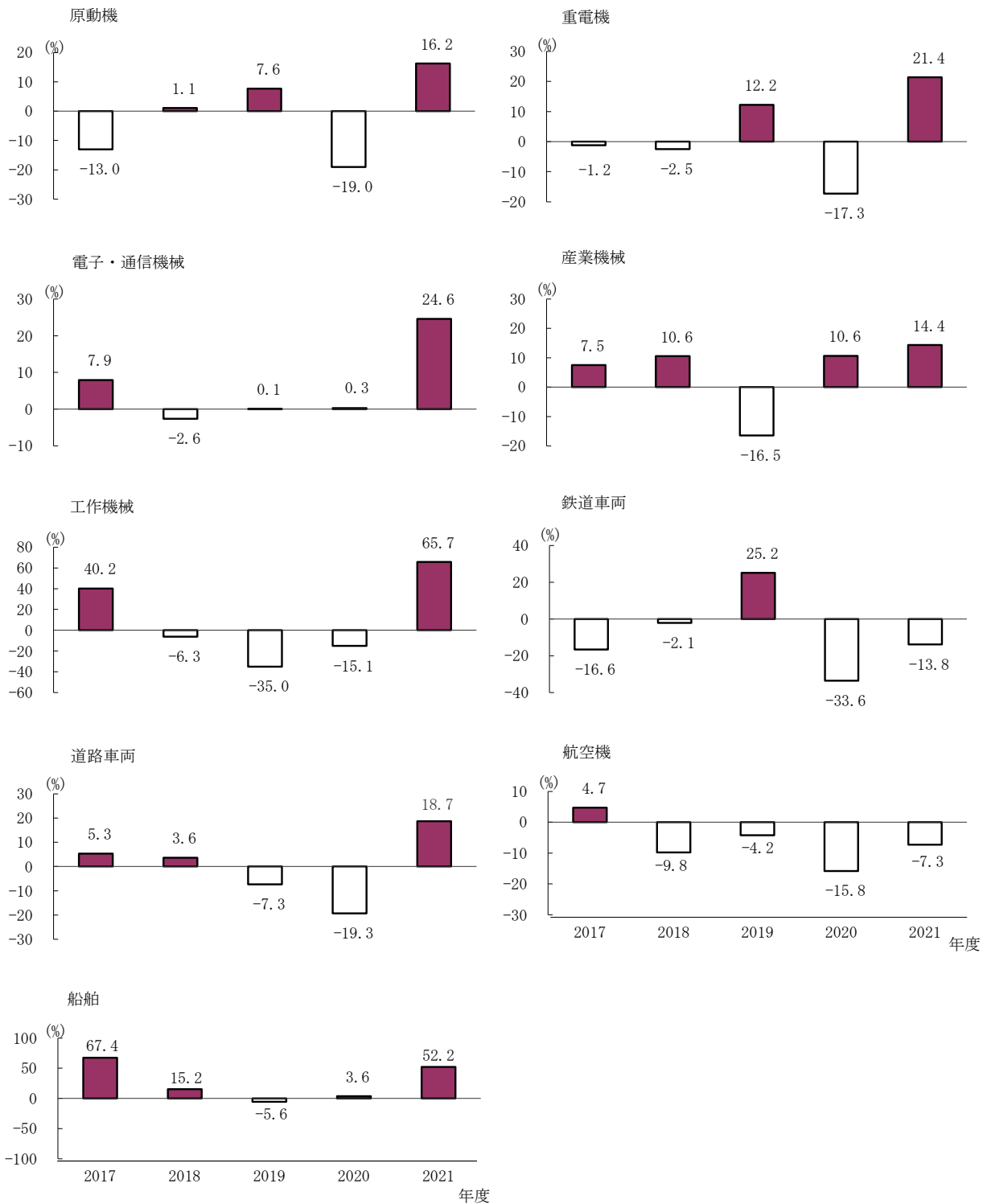
（単位：％）

| | 2016年度 (平成28年度) | 2017年度 (平成29年度) | 2018年度 (平成30年度) | 2019年度 (令和元年度) | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) |
|-----------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| I 製造業計 | -4.6 | 9.2 | 3.8 | -8.1 | -8.5 | 26.7 |
| 1 食品製造業 | -11.0 | 12.8 | -9.4 | 7.8 | -10.5 | -5.3 |
| 2 繊維工業 | 10.6 | 35.0 | 2.5 | -11.3 | -3.7 | 13.6 |
| 3 パルプ・紙・紙加工品 | 14.1 | 1.0 | 4.8 | -6.2 | -6.4 | 6.1 |
| 4 化学工業 | -3.1 | 6.1 | 15.4 | -16.6 | 10.0 | 15.2 |
| 5 石油製品・石炭製品 | 8.3 | -26.7 | 133.2 | -36.0 | -2.9 | -9.8 |
| 6 窯業・土石製品 | 11.6 | 6.3 | 10.0 | 1.5 | -14.3 | 21.3 |
| 7 鉄鋼業 | -53.6 | -0.9 | 3.7 | -4.8 | -22.6 | 18.5 |
| 8 非鉄金属 | 102.3 | -45.4 | -7.7 | 1.6 | 10.6 | 132.1 |
| 9 金属製品 | -3.9 | 4.7 | 11.2 | -8.5 | -23.1 | 48.9 |
| 10 はん用・生産用機械 | 0.8 | 18.2 | 4.0 | -15.9 | -10.7 | 33.4 |
| 11 業務用機械 | -2.5 | 18.6 | 1.0 | -10.9 | 0.1 | 17.5 |
| 12 電気機械 | -7.6 | 14.6 | -3.8 | 4.4 | 0.3 | 38.8 |
| 13 情報通信機械 | -23.8 | 23.1 | 6.2 | -18.1 | -3.9 | 38.4 |
| 14 自動車・同付属品 | -1.2 | 12.2 | 3.9 | -15.1 | -20.5 | 14.9 |
| 15 造船業 | -23.4 | -14.0 | 29.2 | 20.7 | -13.7 | -5.3 |
| 16 「その他輸送用機械」 | 2.0 | -12.3 | 2.9 | -2.4 | -28.4 | 14.1 |
| 17 「その他製造業」 | 6.6 | 23.0 | -5.0 | -5.5 | -8.2 | 18.1 |
| II 非製造業計 | -2.8 | -6.5 | 3.7 | 5.6 | -12.1 | -3.8 |
| 18 農林漁業 | 4.4 | 7.2 | -1.9 | -6.6 | 6.3 | -3.1 |
| 19 鉱業・採石業・砂利採取業 | 9.7 | -6.6 | -1.3 | -2.5 | 9.7 | -1.5 |
| 20 建設業 | 6.8 | -13.6 | 20.4 | 1.2 | -2.8 | 11.4 |
| 21 電力業 | -17.1 | -4.7 | 6.2 | 4.3 | -19.4 | -6.9 |
| 22 運輸業・郵便業 | 19.3 | -16.2 | 10.5 | 30.6 | -30.9 | -8.4 |
| 23 通信業 | 4.4 | -10.8 | -3.2 | 1.1 | 8.7 | -10.3 |
| 24 卸売業・小売業 | -6.6 | -0.4 | 0.6 | 10.0 | -9.3 | 10.9 |
| 25 金融業・保険業 | -13.2 | -2.6 | -1.8 | 0.4 | -1.1 | -6.2 |
| 26 不動産業 | -7.2 | 2.2 | -11.4 | 13.9 | -10.9 | 13.1 |
| 27 情報サービス業 | -1.4 | -0.6 | -0.8 | 0.6 | -5.7 | 8.4 |
| 28 リース業 | -3.8 | 12.9 | -6.7 | 12.0 | -18.5 | -13.5 |
| 29 「その他非製造業」 | 2.6 | -8.5 | 0.7 | -4.9 | -8.6 | -11.8 |

(3) 機種別受注動向

2021年度の機種別受注動向を前年度比で見ると、電子・通信機械（24.6%増）が3年連続、船舶（52.2%増）及び産業機械（14.4%増）が2年連続、工作機械（65.7%増）が4年ぶり、道路車両（18.7%増）が3年ぶり、重電機（21.4%増）及び原動機（16.2%増）が2年ぶりにそれぞれ増加した。また、航空機（7.3%減）が4年連続、鉄道車両（13.8%減）が2年連続でそれぞれ減少した。

第5図 主要機種別機械受注（前年度比）



機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表

目 次

[グ ラ フ]

| | | |
|-------|-----------------|----|
| 第 1 図 | 主要需要者別受注額 ----- | 14 |
| 第 2 図 | 主要業種別受注額 ----- | 17 |
| 第 3 図 | 主要機種別受注額 ----- | 22 |

[計 数 表]

| | | |
|--|------------------------------|----|
| | 需要者別受注額（季節調整系列） ----- | 23 |
| | 機種別受注残高手持月数（ 〃 ） ----- | 28 |
| | 需要者別受注額（原系列） ----- | 29 |
| | 機種別受注額（ 〃 ） ----- | 34 |
| | 機種別販売額（ 〃 ） ----- | 38 |
| | 機種別受注残高（ 〃 ） ----- | 42 |
| | 需要者別受注額（年度） ----- | 46 |
| | 機械受注統計調査結果表（2022年3月実績） ----- | 51 |
| | 〃 （2022年1～3月実績） ----- | 55 |
| | 〃 （2021年度実績） ----- | 59 |

(別紙)

| | | |
|--|----------------------|----|
| | 需要者（業種）分類の表章変更 ----- | 63 |
|--|----------------------|----|

(巻末)

| | | |
|--|-----------------|----|
| | 季節調整の検討結果 ----- | 64 |
|--|-----------------|----|

(注) 受注残高の四半期計数および年度計数は各期末残高。